



～異なる魅力を持つ3つの登山道～

富士宮口登山道・御殿場口登山道・須走口登山道

夏の富士登山にチャレンジ

富士山が世界遺産に登録されてから1年を迎えようとしています。富士山には代表的な登山道が4つあります。今回は、富士山ネットワーク会議に加盟している4市1町（裾野市、富士宮市、富士市、御殿場市、小山町）にある登山道と富士山に関わる道を紹介します。登山マナーを守りみんなで気持ちよい富士登山をしましょう。



富士宮市

富士宮口登山道

山頂まで最も距離が短い登山道

所要時間／登り▶約4～5時間、下り▶約2～3時間

山小屋の数／8軒

登山者と下山者で交流が生まれる富士宮口登山道

富士山頂までの距離が最も短い（※五合目の標高が、他の五合目よりも高いところにあるため）登山道です。また、山小屋が平均的に分布し休憩しやすいことも魅力です。登り下りが同じ道であるため、双方向に登山者がおり登山者同士のコミュニケーションが生まれます。その他富士山表富士宮口登山組合を中心に、官民が一体となって、安心・安全の登山になるように取り組んでいるので、事故が少なくなっています。

アクセス

車で 東名裾野 I C → 国道 469 号 → 南富士エバーグリーンライン → 富士山スカイライン

バスで JR 三島駅または裾野駅入口から富士宮口五合目行きバスを利用（富士急シティバス）
※登山シーズンのみ

駐車場／マイカー規制期間以外は、富士宮口五合目（富士山スカイライン終点）に350台。※マイカー規制期間中は、水ヶ塚公園駐車場へ

問合せ／富士宮市観光課 0544-22-1155



富士山表富士宮口登山組合長
元祖7合目 山口山荘
山口芳正さん



山小屋には、「おもてなし」や、「見える景色の違い」など、山小屋ごとの個性があります。また、「山小屋」と「お客さん」と「富士山」が一体となって素敵な時間が流れるのです。

毎年山小屋についてからの日々は感動の毎日です。さまざまなお客さんに出会うこと、そのお客さんに無事に下山してもらえること、それが私の幸せです。

最近、富士宮口登山道では、弾丸登山は収まってきた感じがします。しかしながら、バイオトイレが不足しつつある問題や、お盆や週末に増加する外国人登山客のゴミ捨てや、夜間の騒音など、マナーの守れない登山者の問題に対策を講じていかなければなりません。

今でも当時の面影をうかがい知ることができます。

村山道は開発などの経年の変化により、かつての状態をとどめていませんが、これらの道しるべから推定されるルートをとどめることができます。

また、富士市では、今年度から村山道とは別に、富士市の特性を生かした富士山体験メニューとして、海拔0メートルから山頂まで楽しみながら歩くことができる「(仮称)富士山観光登山ルート3776」づくりに向けた調査を実施します。調査結果は、来年度に公表する予定です。

問合せ／富士市文化振興課 0545-55-2875

富士市

むらやまみち
富士山村山道

現在、富士市には、富士山頂への登山口はありませんが、かつて東海道から村山口登山道をつなぐ道の一つとして「村山道」がありました。

江戸時代、多くの人々が登拝（富士山に祀られる神仏を参拝すること）のために、富士山を目指しました。中世から富士山信仰の拠点だった富士宮市村山の興法寺（現在の村山浅間神社）は、こうした登拝者のため、江戸時代後期に、東海道吉原宿から直接興法寺に至る村山道を設定し、ルートを示した絵図を盛んに発行したり、道沿いに石造の道しるべを置いたりしました。

明治時代になると、神仏分離による興法寺の解体や、村山を経由しない新登山道の設置によって村山道は衰退していき、その機能を失いました。

しかし、現在も富士市内には、村山道の道しるべが5基（大淵地区の辻畑・横山・大峯・石ノ前・覆盆子平）、富士宮市内には、2基（横沢、粟倉）残っていて、



▲駿河国富士山絵図



▲村山道の道しるべ(覆盆子平)

御殿場市

御殿場口登山道

君は駆けたか？あの大砂走りを！

所要時間／登り▶約8時間、下り▶約4時間

山小屋の数／5軒

一歩で3メートル！大砂走り

御殿場ルート下山道の七合目から太郎坊までは、厚い火山礫に覆われています。一歩で3メートル余りも進み、まるで飛ぶように下ることができる大砂走りは、他の登山道では体験できません。御殿場市の全景をはじめ、箱根連山、駿河湾、そして宝永火口を一望して一気に下る気分は本当に爽快です。御殿場ルートからの下山だけで味わえるご褒美です。

皇太子殿下の御足跡を心に刻む“プリンスルート”

平成20年、皇太子殿下が富士山に初登頂された時のルートです。富士宮口から登りはじめ、六合目で富士宮口と分かれ、宝永火口の横を通り御殿場口の六合目へ行き、そこから頂上へ向かわれました。登頂後はお鉢巡り、そして御殿場口下山道の豪快な大砂走りを楽しめました。

高い位置から登りはじめることができ、大砂走りで楽々下山…御殿場口の新しい楽しみ方の一つです。

アクセス

鉄道・バスで

JR御殿場駅から登山バス(路線バス)有り。

車で

御殿場口新五合目まで、富士山スカイライン(無料)を利用。

駐車場／御殿場口新五合目に500台。

※御殿場口ではマイカー規制を実施しません。

問合せ／御殿場市商工観光課 0550-82-4622

御殿場口山内組合長
福島 邦彦さん

御殿場口は、数ある登山道の中でも一番厳しいコースだと言われています。しかし、実は初心者向きのコースなんです。新五合目の標高は他の登山道に比べて低く、そこでしっかり体を慣らしてから登れば高山病にならず登れます。登山計画を一泊二日にして時間の余裕をもち、体をしっかり山に慣らして、おしゃべりしながら楽しく登っていただきたいです。時間があるなら断然御殿場口ですよ！

昨年の富士山の世界文化遺産登録は、まだスタート地点でしかありません。登山客が増加する中、どのように富士山の環境を守っていくのが課題です。登山客のサポートはもちろんのこと、富士山の環境を守る手助けもしていきたいと思っています。

豪快な大砂走りと、プリンスルートのある御殿場口。ぜひ一度、御殿場口から富士登山に挑戦してみてください。

裾野市

須山口登山道

須山口登山道は、須山浅間神社を起点として山頂部の駒ヶ岳に至った登山道です。起源は明確ではありませんが、遅くとも室町時代には使用されていたことがわかっています。1800年の御縁年には5,398人の登山者を集めました。

明治時代になって、須山口登山道の二合八勺に合流する御殿場口登山道ができ、東海道線(現在の御殿場線)が開通すると、須山口登山道の利用者が少なくなりました。1912年には、登山道の一部が陸軍演習場となり通行自体が困難となりました。

平成8年に須山口登山歩道保存会が発足し、翌年から平成11年にかけて、須山浅間神社から水ヶ塚公園、御殿庭を通り富士宮口六合目に至る須山口登山歩道とかつての須山口を利用した須山口下山歩道が整備され

ました。水ヶ塚公園から40分程歩いたところにある須山御胎内は、須山口登山道の一合目にあたり、かつては登山者を調べた須山口の役場などがありました。

問合せ／裾野市生涯学習課 055-992-3800



▲須山御胎内(旧須山口登山道一合目)

小山町

須走口登山道

自然の息吹を感じながら歩ける樹林帯

所要時間／登り▶約5時間、下り▶約2時間40分

山小屋の数／13軒

ご来光や影富士が見やすい須走口登山道

標高の高い位置まで広がる樹林帯により、登山中の日差しから守られます。

樹林帯を抜けると、どこからでも御来光や影富士が見られ、火山砂利の下山道を一直線に下る「砂走り」があります。

登山道と下山道が別で、本八合目から山頂までの区間は吉田ルートと合流するため混雑することがあり、樹林帯では見通しが利かないため、夜間や濃霧時は道に迷わないように注意が必要です。

アクセス

バスで

須走口五合目まで、JR御殿場駅などから登山バス（路線バス）を利用。

車で

須走口五合目駐車場までは、東富士五湖道路の須走ICを利用するか、東名御殿場ICから国道138号を経て「ふじあざみライン」を利用。

問合せ／小山町商工観光課 0550-76-6114



富士山須走口山内組合長 菅沼 茂明さん



須走口は自然が多く残っていて、緑地帯、低木や砂地などの変化に富んだ登山道です。

登山者はゆっくりと登りたい年齢層の高い個人客のリピーターが多く、旅行などに比べ費用が抑えられるためか家族連れも多くみられます。

最近では観光登山化したため軽装で薄着の登山者も多いですが、行程が遅れて暗くなることもあるため必ずヘッドライトを携行し、コンビニなどの簡易な雨具は溶岩石で破れやすいため、上下セパレート型の雨具が必要です。

週末やお盆の時期を中心に山小屋は混雑しますが、シーズンに入っても予約しやすい平日に来ていただき時間的にも余裕をもって安全に登山していただきたいと思います。

登山マナーを守り、 みんなで気持ちよい登山を

開山期間は7月10日(木)～9月10日(水)

今年は富士山の開山期間は、7月10日(木)～9月10日(水)です。開山期間以外は山小屋が閉じているので、仮眠や休憩ができなくなってしまいます。安全のため、開山期間内に登山をしてください。また、開山期間内は協力金の支払いにご協力ください。協力金は1,000円(任意)です。支払われた協力金は富士山保全のために使用します。

計画を立てて登山にチャレンジを

弾丸登山を行うと、急な気圧の変化で体調を崩すなどして登頂できないことがあります。登山経験が少な

い方はなおさらペース配分や体調管理が難しいと思われます。余裕のある登山計画を立て、途中の山小屋で仮眠するなどして、急がずゆっくりと登ることを心がけましょう。一人で登る場合は、途中で助けてくれる人がおらず、いざ辛い状況に陥ったときには打つ手が無くなることもあります。2人以上で登山しましょう。

開山期間中はマイカー規制を実施

富士宮口と須走口の五合目駐車場付近では、夏の登山シーズンに登山客や観光客が集中し、交通渋滞が発生しています。このため、渋滞を緩和して、富士山への来訪者の安全と快適性の確保、富士山の自然環境の保全のために、マイカー規制を実施しています。規制中は富士宮口と須走口の五合目までバスやタクシーをご利用ください。詳細は12ページの富士山マイカー規制のお知らせをご覧ください。